

かかりつけ薬剤師・薬局の評価を含む調剤報酬改定の影響及び実施状況調査報告書(案) ＜概要＞

調査の概要 ①

1 調査の目的

- 令和6年度調剤報酬改定において、地域の医薬品供給拠点としての役割を担い、地域医療に貢献する薬局の整備を進めていくこと、職員の賃上げを実施すること等の観点から
 - ・ 調剤基本料の引き上げ
 - ・ 薬局・薬剤師の地域におけるかかりつけ機能の発揮を推進するため、地域支援体制加算の要件及び評価の見直し
 - ・ 改正感染症法を踏まえた連携強化加算の要件及び評価の見直し 等を行った。
- これらを踏まえ、本調査では、改定に係る影響や、薬局・薬剤師業務の専門性をさらに高め、質の高い薬学的管理の提供への転換を推進するための調剤報酬の在り方について検討を進める観点から、かかりつけ薬剤師・薬局の取組状況等について調査・検証を行った。

2 調査の方法

- 「保険薬局調査」、「病院調査」、「一般診療所調査」、「患者調査(郵送調査)」について実施。
- 「保険薬局調査」、「病院調査」、「一般診療所調査」では、自記式調査票を郵送にて対象施設に配布。対象施設では、①調査票を郵送で返送する方法、②調査専用のウェブサイトからダウンロードした電子調査票をメールで回答する方法、の2種類の回答方法から選択して回答。
- 「患者調査(郵送調査)」は、保険薬局調査の調査対象施設を經由して調査票を配布。調査対象者は、①調査票を郵送で返信する方法、②Webから回答する方法、の2種類の回答方法から選択して回答。

調査の概要 ②

3 調査の対象

○ 調査対象・件数は以下のとおり

調査種類	調査対象・回答者	調査件数(合計・内訳)		抽出条件(抽出率)
保険薬局調査	・ 地域支援体制加算1・2の届出施設(A)	1,000件		無作為(5.7%)
	・ 上記(A) 以外の施設(B)	1,000件		無作為(2.2%)
診療所調査	・ 地域包括診療料の届出施設(C)	1 0 0 0 件	250件	無作為(59.5 %)
	・ 地域包括診療加算の届出施設(C)		250件	無作為(2.0%)
	・ 小児かかりつけ診療科の届出施設(C)		250件	無作為(9.8%)
	・ 上記(C)以外の施設(D)		500件	無作為(0.6 %)
病院調査	・ 許可病床数200床未満の施設 (地域包括診療料の届出施設を含む)	1 0 0 0 件	500件	無作為(8.9 %)
	・ 許可病床数200床以上の施設		500件	無作為(21.1%)
患者調査	・ 調査期間中に上記(A)～(B)の保険薬局を受診した患者	最大4,000件 (1施設につき2名)		無作為※

※ 患者調査は、かかりつけ薬剤師指導料に同意している患者1 名、かかりつけ薬剤師指導料に同意していない患者1 名

調査の概要 ③

4 回収の状況

- 調査実施時期は令和7年8月4日から9月16日
- 有効回答率及び調査票ページ数は以下のとおり。

		令和3年度		令和5年度		令和7年度	
		有効回答率	ページ数	有効回答率	ページ数	有効回答率	ページ数
薬 保 局 険	・ 地域支援体制加算1・2の届出施設	47.0%	17p	50.4%	12p	49.8%	11p
	・ 上記以外の施設	41.4%		53.9%		44.6%	
診 療 所	・ 地域包括診療料の届出施設	38.0%	8p	35.8%	5p	36.8%	5p
	・ 地域包括診療加算の届出施設	34.2%		41.0%		28.8%	
	・ 小児かかりつけ診療科の届出施設	42.6%				31.6%	
	・ 上記以外の施設	—	—	—	—	31.6%	
病 院	・ 200床未満の施設	—※				25.4%	5p
	・ 200床以上の施設					33.6%	
患 者	・ 「保険薬局調査」の対象施設に来局した患者(最大2名)	(有効回答数) 827件	7p	(有効回答数) 1,039件	5p	(有効回答数) 1,076件	5p

	令和3年度		令和5年度	
	有効回答率	ページ数	有効回答率	ページ数
特定機能病院(悉皆)	79.5%	9p	79.5%	5p
地域包括診療科の届出施設	25.0%		34.0%	
上記以外の病院	30.9%		30.0%	

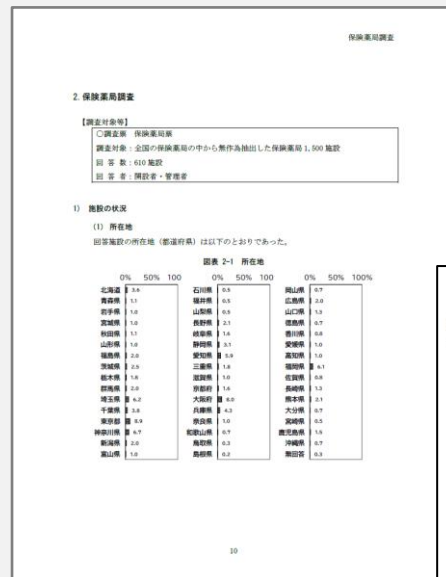
※令和3年度及び令和5年度の「病院調査」は特定機能病院、地域包括診療科の届出施設、及びその他病院にて実施している

(参考) 報告書の構成の変更

- 報告書本文には、主要論点となる集計結果のみを抜粋して図表・説明文を掲載。また、報告書本文とは別に全ての集計結果について図表のみで構成する参考資料を作成。

これまでの報告書

- 全ての調査結果を説明文とともに掲載



- 全ての設問について
グラフと説明文を記載

今回の報告書

- ① 報告書本文イメージ

③ 在庫のあるバイオ医薬品（先行バイオ医薬品・バイオ後続品）
病院調査において、バイオ医薬品の「処方あり」と回答した場合、在庫のあるバイオ医薬品を尋ねたところ「インスリン製剤」が、病院調査全体（167施設）では89.8%であった。

図表 5-49 在庫のあるバイオ医薬品（複数回答）
（バイオ医薬品の処方あり）

調査数（n数）	全体	バイオ後続品導入初期加算	
		算定あり	算定なし
インスリン製剤	167	57	94
インスリン製剤	89.8%	94.7%	87.2%
テリパチド製剤	47.9%	63.2%	40.4%
ペパシズマブ製剤	40.7%	73.7%	22.3%
インフリキシマブ製剤	37.7%	66.7%	21.3%
トラスツマブ製剤	37.1%	73.7%	17.0%
リツキシマブ製剤	28.1%	56.1%	14.9%
アダリムマブ製剤	27.5%	57.9%	11.7%
ラニズマブ製剤	24.0%	54.4%	8.5%
エタネルセプト製剤	23.4%	42.1%	12.8%
ヒト成長ホルモン製剤	13.2%	29.8%	4.3%
アガリシダーゼ製剤	4.2%	8.8%	2.1%
バイオ医薬品の在庫なし	1.2%	0.0%	1.1%
無回答	2.4%	1.8%	2.1%

- 主要な調査結果を抜粋し、
説明文とともに掲載

- ② 参考資料イメージ

1. ⑩ リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し

回答数（件）	割合
積極的に検討する	471
希望があれば検討する	6.2
検討には消極的	53.3
無回答	39.5
無回答	1.1

⑪ 長期処方の発行に係る検討についての今後の見通し

回答数（件）	割合
積極的に検討する	471
希望があれば検討する	28.9
検討には消極的	55.4
無回答	18.0
無回答	1.3

- 参考資料は集計結果
のみ掲載